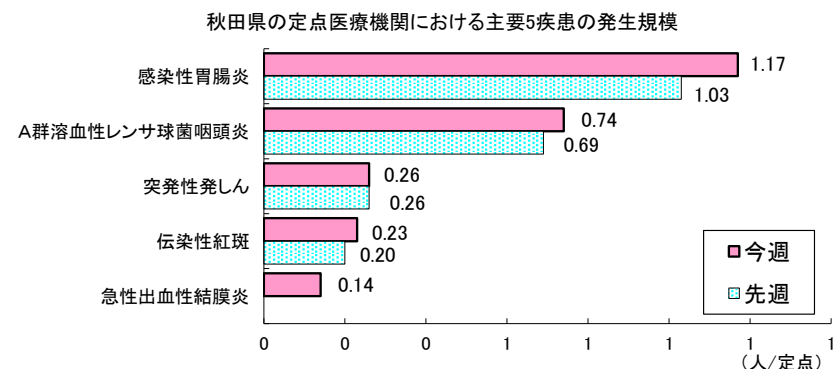




【第17週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、横手で増加、能代、秋田中央、大仙、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、大館、北秋田、大仙、湯沢で増加、秋田中央で同規模、秋田市、能代で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で同規模です。保健所別では、秋田市、秋田中央で増加、北秋田で同規模、大館、横手、湯沢で減少しています。



発生報告

次回(2020年第18週)の週報は、2020年5月11日(月)に公表します。

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減			
RSウイルス感染症	0.03		↘																0.25		↘									
インフルエンザ	0.20	0.04	↘	1.00	0.09	↘														0.14	↗									
咽頭結膜熱	0.09	0.09		0.14		↘		0.25	↗									0.50	0.25	↘		0.25	↗							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.69	0.74	↗	0.57	0.29	↘	0.25	0.75	↗		0.50	↗	0.67	0.33	↘	3.00	3.00					1.25	1.50	↗			0.25	↗		
感染性胃腸炎	1.03	1.17	↗	1.29	1.57	↗	0.25	1.00	↗				2.67	0.67	↘	2.50	2.25	↘				0.75	0.50	↘		3.00	↗	1.25	1.00	↘
水痘	0.06	0.06						0.50	↗	0.50		↘	0.33		↘															
手足口病	0.26	0.06	↘	0.57	0.29	↘	0.25		↘															1.00		↘	0.25		↘	
伝染性紅斑	0.20	0.23	↗		0.43	↗																1.75	1.25	↘						
突発性発しん	0.26	0.26		0.29	0.86	↗	0.50	0.25	↘	0.50	0.50						0.25	↗						1.00		↘	0.25		↘	
ヘルパンギーナ	0.03		↘																0.25	↘										
流行性耳下腺炎		0.03	↗																			0.25	↗							
川崎病		0.03	↗																			0.25	↗							
急性出血性結膜炎		0.14	↗						*	*		*	*		*	*									1.00	↗	*	*		
流行性角結膜炎									*	*		*	*		*	*											*	*		
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎	0.13		↘	1.00		↘									*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0.13	↗												*	*											1.00	↗		
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のつつが虫病が由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-16週		17週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	5027	25	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	39		
	腸管出血性大腸菌感染症	308	8	
	腸チフス	13		
	パラチフス	6		
四類	E型肝炎	187	1	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	46		
	エキノコックス症	7		
	黄熱			
	オウム病	3		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	9		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-16週		17週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	61		1
	デング熱	40		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	15		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症			
	マラリア	10		
野兔病				
ライム病	2			
五類	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	416	5	
	レプトスピラ症	1		
	ロッキー山紅斑熱			
	アメーバ赤痢	188		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	78	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	428	1	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	9		
	急性脳炎	246	4	
	クリプトスポリジウム症	1		
	クワイツフェルト・ヤコブ病	35	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	276	2	
	後天性免疫不全症候群	274		
	ジアルジア症	13		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	125		
侵襲性髄膜炎菌感染症	10			
侵襲性肺炎球菌感染症	774	6		
水痘(入院例に限る)	115	3		
先天性風しん症候群	1			
梅毒	1571	15	2	
播種性クリプトコックス症	33	1		
破傷風	26			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	40			
百日咳	2217	8		
風しん	76			
麻しん	10			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2			
指定	新型コロナウイルス感染症	10729	16	

トピック

<こまめな手洗いを心掛けましょう>

感染症予防の基本は手洗いです。私たちの手は、一日の中で様々な物に触れており、手を介して細菌やウイルスといった病原体を運搬してしまう可能性があります。手洗いは手に付いた病原体を取り除くことができ(表)、感染予防に有効です。しかし、自己流になりやすく、洗ったつもりでも十分に洗えていない場合があります。正しい方法で行いましょう。

■手洗いの方法

あらかじめ爪は短く切っておきましょう。時計や指輪を外し、次の手順で手を洗います(図)。

- ①流水でよくぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこする。
- ②手の甲を伸ばすようにこする。
- ③指先・爪の間を念入りにこする。
- ④指の間を洗う。
- ⑤親指と手のひらをねじり洗いする。
- ⑥手首も忘れずに洗う。

こままで洗ったら十分な流水で石けんを洗い流し、最後に清潔なタオルやペーパータオルで手をよく拭いて乾燥させましょう。タオルの共用は避けましょう。



図 手洗いの正しい手順
(厚生労働省監修「ママに正しい手の洗い方」より)

表 手洗いの時間・回数による効果

手洗いの方法	残存ウイルス(残存率)*
手洗いなし	約100万個
流水で15秒手洗い	約1万個(約1%)
ハンドソープで10秒または30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数100個(約0.01%)
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数10個(約0.001%)
ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数個(約0.0001%)

* 手洗いなしと比較した場合

出展：国立医薬品食品研究所
(感染症学雑誌80:496-500,2006)

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
秋田市	金寿園	4/23	68名のうち18名	46名のうち5名	23名	4/11 ~ 4/23	咽頭痛、咳、発熱、鼻汁



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
急性出血性結膜炎	-	横手(1.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	基準値(人/定点)		開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		